施工説明書

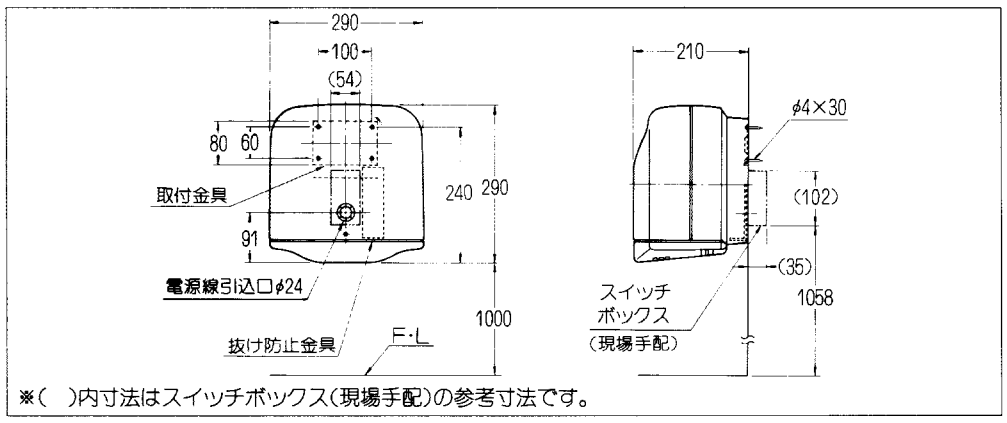
INAX

ハンドドライヤー

KS-501
温風乾燥機(電源直結式)

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

●施工完了図



※( )内寸法はスイッチボックス(現場手配)の参考寸法です。

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は取扱説明書と共にお客さまで保管頂くよう依頼してください。

用語の説明

警告 …… 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 …… 取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常作動してケガをすることがあります。

水につけたり、水をかけないでください。
※ショート・感電の恐れがあります。

⚠注意

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。

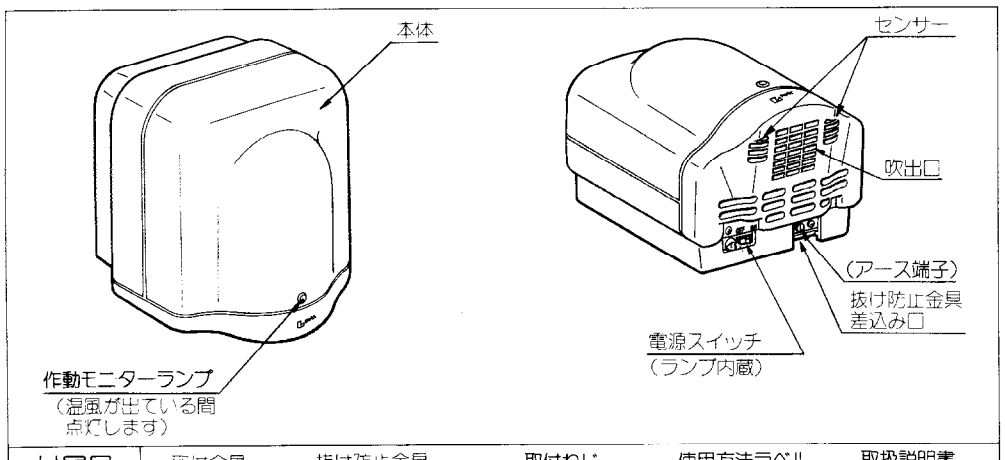
交流100V以外では使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。

必ずアース工事を行ってください。
※故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

●仕様

定　格	AC100V50/60Hz 930/980W	外形寸法	幅290×高さ290×奥行210(mm)
モーター	ACコンデンサモーター	商品質量	5.0kg
ファン	シロッコファン	本体材質	ABS樹脂
ヒーター	PTCセラミックヒーター	安全装置	過電流ヒューズ、PTCサーミスタ

●商品の内訳

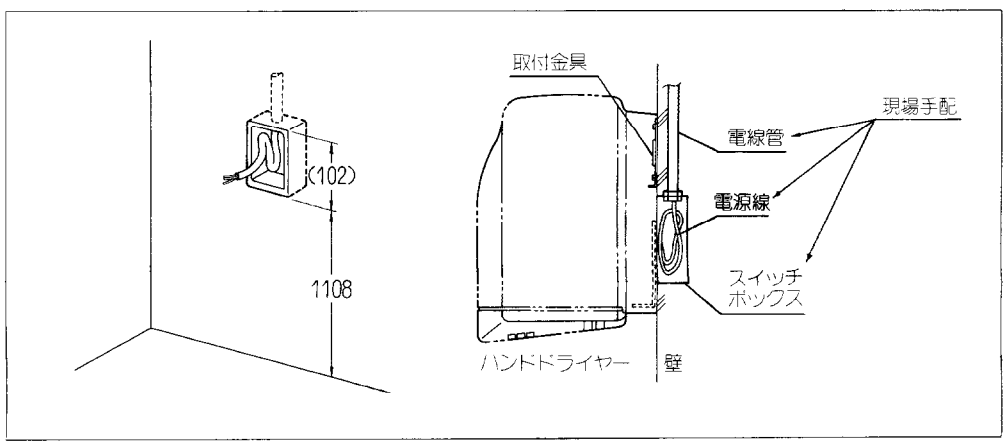


●施工前のご注意

●電気製品ですので、浴室など湿気の多い所や水のかかりやすい所への設置は避けてください。
※故障の原因となります。
●本品は電源直結式です。取付けは電気工事業者に依頼してください。
電源はAC100V(50/60Hz)、最大消費電力は980Wです。これに適合した配線工事を行ってください。
●必ず第三種接地工事(アース工事)を行ってください。万一の際の漏電防止のため漏電ブレーカーを設置してください。
●カウンターの上などに設置される場合は300mm以上離して取り付けてください。
※本品は、センサーにより自動で温風を吹き出す機器で、感知エリアの近くに物があると、誤作動の原因となります。

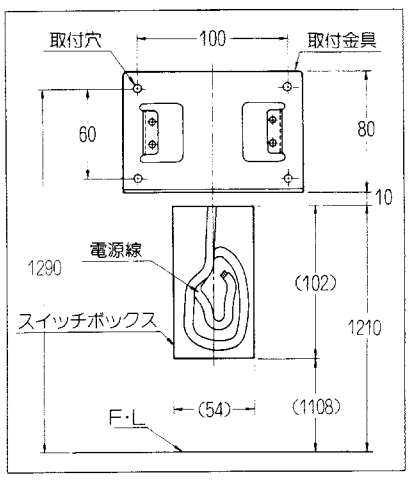
●電源工事について

本品を取り付ける壁面に、電源線・スイッチボックスを埋め込みます。
※電源工事は必ず**電気工事業者**に依頼してください。
※電源線・スイッチボックスは現場手配となります。
※電源線はφ2.0の単線または同等のより線をご使用ください。
※電源線およびアース線は壁面より約300mmの長さが必要です。
※スイッチボックスは下図の位置に埋め込んでください。
※スイッチボックスが仕上壁から突出しないようにご注意ください。



※この場合床から本体の吹出口までの高さは1000mmとなります。

●施工方法



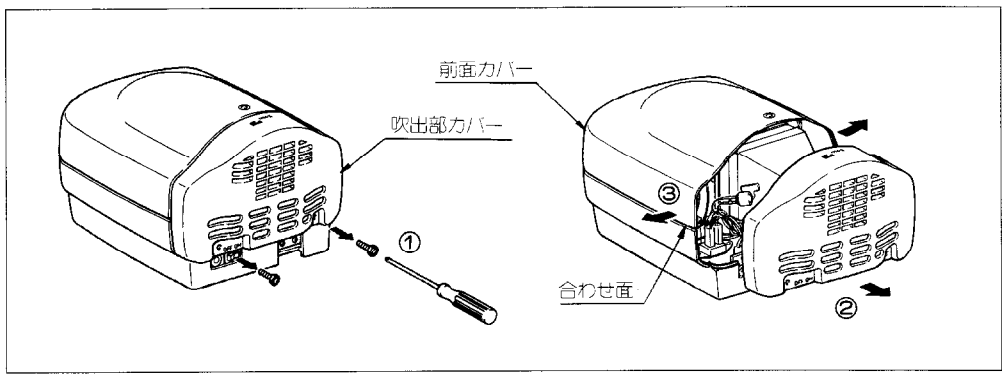
1．取付金具の固定

〔乾式壁の場合〕
取付金具を付属の取付ねじ(4本)で確実に固定します。
※ねじ込み深さ20mm以上を確保してください。

〔湿式壁の場合〕
AYボルト(INAX品番AY-21……別手配)をご使用ください。(下穴径φ7.5mm深さ45mm)
※壁仕上材の厚さは20mm以下としてください。

2．前面カバーの取外し

①本体の吹出部カバー取付ねじ(2本)をプラスドライバーで外します。
②吹出部カバーを手前に引いて取り外します。
③本体の前面カバー側面の合わせ面を、外側へ少し開くようにして外します。

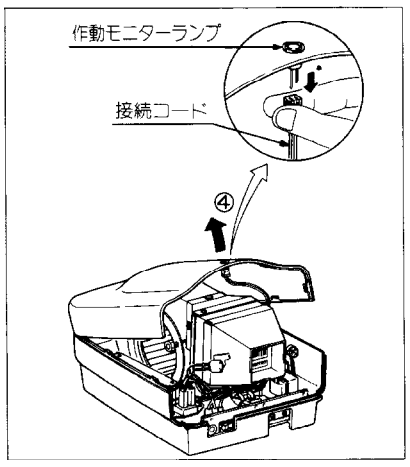


株式会社INAX

本社　☎0569-35-2700
横浜支社　☎045-242-1710
甲信支社　☎0263-36-2166
京滋支社　☎075-222-1794
札幌支社　☎011-271-1701
千葉支社　☎043-227-8171
名古屋支社　☎052-201-1717
広島支社　☎082-223-1710
東北支社　☎022-301-1701
埼玉支社　☎048-668-1177
静岡支社　☎054-251-1710
四国支社　☎0878-21-1701
東京支社　☎03-5541-7111
東関東支社　☎028-637-3379
北陸支社　☎0762-64-1710
福岡支社　☎092-282-3151
西東京支社　☎0425-27-3341
関越支社　☎0273-27-1793
大阪支社　☎ 06-539-3500
南九州支社　☎096-322-1794

④吹出口側を引き上げ、作動モニターランプの接続コードを外してから前面カバーを完全に取り外します。

※カバーを取り外す場合、表面にキズなどを付けないように注意して作業をしてください。



3．電源線の引込み

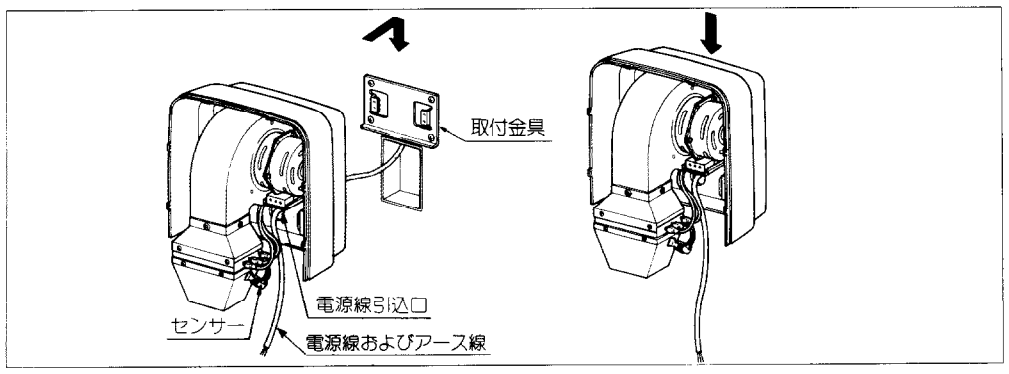
※電源の引込みは必ず電気工事業者に依頼してください。

⑴本体裏側の電源線引込口より電源線およびアース線を引き込みます。

※電源線およびアース線は下図に示すような位置で引き込み**センサー等他の部品、配線にぶつからないようにしてください。**

⑵本体取付面を**壁に沿わせるようにして**しっかり止まるまで取付金具に上から差し込みます。

※電源線およびアース線をはさみ込んだりして傷付けないようにしてください。電源線が破損し、火災・感電の原因となります。



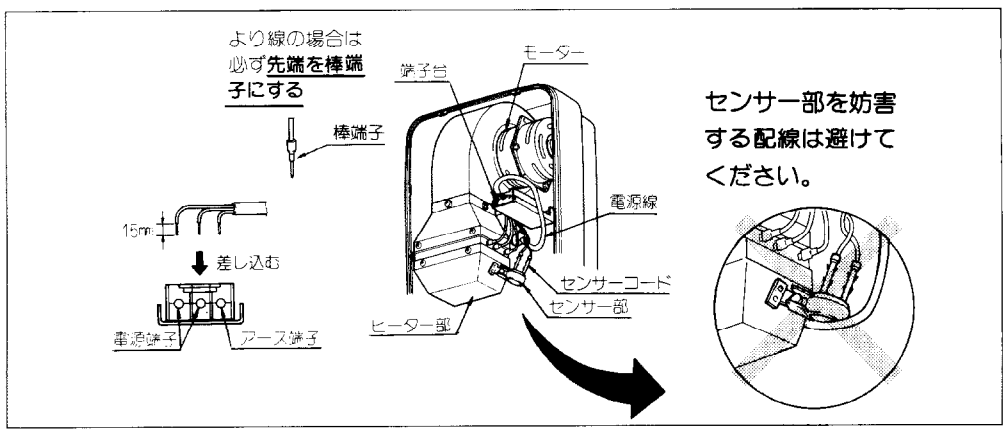
※本体を取付金具へ差し込む際、本体内部の部品を損傷させないように気をつけ、差込みが完全であることを確認してください。

4．電源線・アース線の接続

※電源線およびアース線の接続は必ず電気工事業者に依頼してください。

本体内に引き込んだ電源線およびアース線を端子台へしっかりと差し込みます。差し込みが不完全だと接続部が過熱し火災の原因となります。

※電源線およびアース線はヒーター部、モーター部に触れないように、また、センサー部を妨害しないように配線し、必要に応じて電源線およびアース線を固定してください。

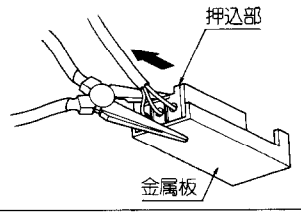


電源線は長すぎるとしまつが悪くなります。適当な長さで配線してください。

※電源線を誤って端子台に接続した場合は、下記の要領で電源線を引き抜き、正しく接続してください。

電源線の取外し方

元電源を切って電気がきてないことを確認した上で、ラジオペンチ等で端子台の押込部を狭み、電源線を引き抜いてください。

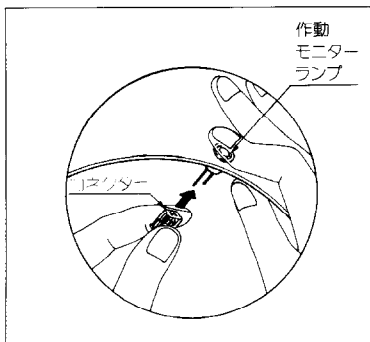


5．前面カバーの取付け

⑴電源線の接続終了後、センサーコードが正しく接続されていることを確認し、前面カバーの作動モニターランプのコード接続をします。

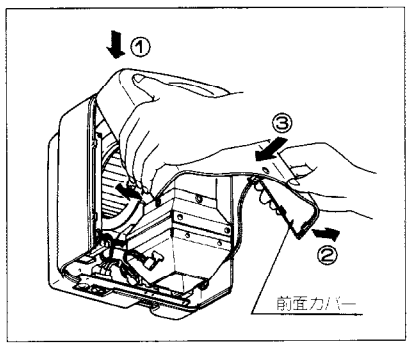
※長いピンがオレンジ色のコードになるよう接続してください。

ピンが曲がっているとコネクターが差し込みにくくなります。ピンをまっすぐにした状態でコネクターの差込穴へ接続してください。



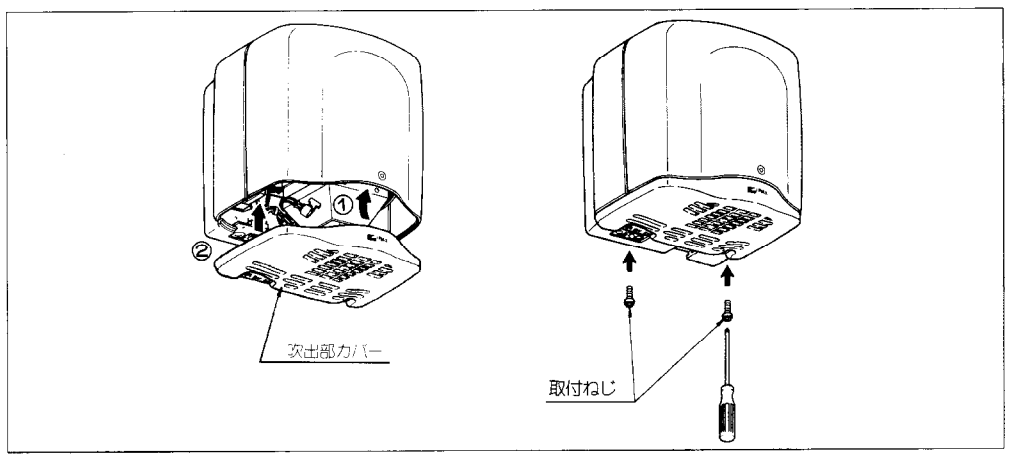
長いピン	オレンジ色
短いピン	黒色

前面カバーの取付けは、
①本体上部を合わせ、
②側面を両手で外側へ開くようにし、
③かぶせるようにして取り付けてください。



※必ず、前面カバーの周囲が正しく本体へ取り付けられていることを確認してください。

⑵次に吹出部カバーを取り付けます。前面のツメを先に合わせ、取付ねじ(2ヶ所)で固定します。

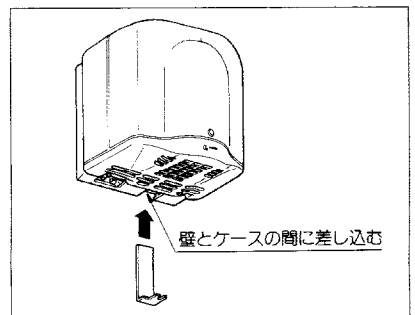


6．抜け防止金具の取付け

抜け防止金具を本体の下側にビスで固定します。

※ビスはあらかじめ本体に取り付けられています。

※付属の使用方法ラベルをハンドドライヤーの近くの壁面など見やすい位置に張り付けてください。



壁とケースとの間に
差し込みビスで固定する

7．取付後の確認

⑴電源スイッチを入れてランプが点灯することを確認します。

⑵吹出口の下に手を差し出すと作動モニターランプが点灯し自動的に温風が吹き出すことを確認します。

※手の位置が中央部より大きく外れたり、本体の下方へ離れすぎると作動しないことがありますので手を吹出口に近づけてご使用ください。

※誤作動を防止するセンサーの特性により、使用中手を静止させた状態ですと作動を停止することがあります。この場合は少し手を動かせばすぐに温風が出ます。

※約１分30秒連続して使用されますと、内蔵の安全タイマーにより作動を停止します。続けてご使用になる場合は一旦手を引き再度差し出してください。

●引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

分解は、吹出部カバー取付ねじ(2ヶ所)をプラスドライバーで外してから吹出部カバー、前面カバーの順で取り外してください。

※前面カバーを先に外すことはできません。

現　象	点検項目	処　置	参照項目
温風が出ない	停電していませんか？	停電が終わるまでお待ちください。	―――
	元の漏電ブレーカーが切れていませんか？	漏電ブレーカーを復帰させる。	―――
	本体の電源スイッチが「OFF」になっていませんか？	電源スイッチを入れる。	『7.取付後の確認』
	電源線は正しく端子台に接続されていますか？	電源線を正しく接続する。	『4.電源線の接続』
	本体内のヒューズが切れていませんか？	ヒューズを交換する。	―――
	センサーコードが外れていませんか？	センサーコードを接続する。	『4.電源線の接続』
温風が出つぱなし	センサー部を妨害する配線をしていませんか？	妨害しないよう配線する。	『3.電源線の引込み』
	本体の取付位置は正しいですか？	正しい位置に取り付ける。	『施工完了図』
	温風吹出口の下に感知物等がありませんか？	感知物を取り除く。	―――
作動モニターランプが点灯しない	コード接続は正しいですか？	正しく接続する。	『5.前面カバーの取付け』